

【第3回学校公開が開催されました～日々の研修コラム～】

12月9日(金)に学校公開が開催され、県内外の特別支援学校、地域の福祉施設の関係者等48名が来校し、感染症対策をしっかりととりながら、本校の授業実践や研究内容、業務改革等の取組を公開し、様々な情報交換をしました。(＊オンラインを含めると111名参加)

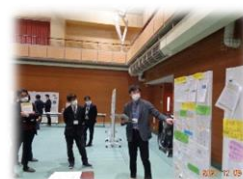
また、指定単元研究では、国立特別支援教育総合研究所 情報支援部 首席総括研究員 横倉久先生、同じく研修事業部 主任研究員 嶋野隆文先生から、各教科等を合わせた指導の目標設定や学習評価等の視点で御助言をいただきました。

さらに、講演会では、以前は文部科学省で勤務され、現在は兵庫県青少年本部兵庫県立山の学校長として勤務している田中裕一先生から、学習指導要領の着実な実施とカリキュラム・マネジメントについて、本校の取組をもとに、具体的に御助言をいただき、本校職員だけでなく、来校した参加者、オンライン参加者ともに、たくさんの知見を得ることができ、明日の実践につなげるためのヒントをたくさんいただきました。



【参加者の声の一部】

○印象に残らないものを探す方が難しくて悩みます。相馬支援学校の教職員の自分達による自分達のための研究になっていたところが今の私の学校に必要なだと特に感じました。そのためにも、貴校のように全員が課題意識や必要感を感じられるような取り組みを参考にしたいです。



○単元案、年間指導計画、単元配当表、業務改革のための取り組みは是非自校でも使いたいと思います。特に、学校が一丸となって、各教科の年間指導計画を作り上げたことは本当に脱帽です。



○12年間を見通した年間指導計画を作成することで系統的な指導ができるのだなと感じました。誰が見ても活用できるところがすばらしいと思いました。



○スイッチを切り替えながら、教科の目標を捉え授業を行っており、勉強になりました。また、それに伴った板書やワークシートもしっかりとしており、参考になりました！

○単元案1ページ目の目標(3観点)と評価規準のデータベースがワンクリックで見ることができるのは、すごいことです。



○高等部紙すき班の授業、拝見させていただきました。物づくりにとどまらない・・・学習指導要領をもとに単元計画、評価を実践されていること、生徒と共有しながら・・・を感じとても参考になりました。



○中学部の授業で国語と道徳の目標があり、それぞれ目指すゴールがはっきりとしていたところが参観していてわかりやすかったです。人物の心情を読み取る際、言葉だけではイメージが届かない生徒へは表情や様子がわかるイラストで提示していたところがなるほどなと思いました。



○働き方改革を、先生方が主体的に考えているところ。そういう職場をつくっていきたいです。

○授業と個別の指導計画を連動させた取り組みが印象的でした。普段からしっかりと学習を計画し、評価していれば、学期末をスムーズに過ごすことができると感じました。



○日々の授業づくりを充実させる（単元案作成）ことが教育課程編成時にいき、カリキュラム・マネジメントの充実につながっていくということがわかり、とても勉強になりました。



○校内研究は人材育成、という言葉が響きました。また、「連携」の大切さを改めて痛感しました。

など、多岐に渡る視点で、様々な感想をいただきました。本校として、今後も地域の方々、県内外の特別支援学校と連携を図りながら、子どもたちの力を最大限に伸ばす教育ができるように、日々の単元や授業に愚直に取り組んでいきたいと考えています。

今後、学校公開で発表した資料等について、順次、公開可能な資料については、ホームページに掲載していき、全国の皆様のカリキュラム・マネジメント、授業改善の取組の一助となるようにしていきたいと思えます！